

令和3年度後期高齢者医療特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 後期高齢者医療保険料	69,435	1 総 務 費	2,248
2 使用料及び手数料	10	2 後期高齢者医療広域連合納付金	90,188
3 国庫支出金	0	3 保健事業費	2,184
4 後期高齢者医療広域連合支出金	2,184	4 繰 出 金	1
5 繰 入 金	22,984	5 諸 支 出 金	31
6 繰 越 金	183	6 予 備 費	148
7 諸 収 入	4		
歳 入 合 計	94,800	歳 出 合 計	94,800

令和3年度後期高齢者医療特別会計 予算の概要

後期高齢者医療制度は、急速な少子高齢化が進む中、国民皆保険を守り、家族や社会のため長年尽くされた高齢者の方々が、安心して医療を受け続けられるようにするため、みんなで医療費を負担する支え合いのしくみです。

令和3年度の税率は、均等割額44,411円、所得割率8.55%です。

(歳入)

特別徴収、普通徴収ともにこれまでの収入実績にそれぞれ収納率を勘案し、特別徴収47,023千円、普通徴収22,129千円を計上しました。滞納繰越分については、令和2年度滞納繰越額を283千円と見込みました。

一般会計繰入金については、事務費繰入金で6,921千円、保険基盤安定繰入金で13,677千円、保健事業費繰入金で2,386千円を計上しました。歳入予算は、保険料と繰入金が総額の97.4%を占めており、保健事業費委託金2,184千円、手数料、繰越金、諸収入で197千円となっています。

(歳出)

保健事業費として2,184千円を計上し、健診の案内送付等で、被保険者の疾病予防等に努めていきます。今年度から国庫補助金における人間ドック補助金の廃止に伴い、後期高齢者医療被保険者に対する補助は廃止します。一般管理費については、1,805千円を計上しました。徴収費については443千円計上しています。

後期高齢者医療広域連合納付金については、保険料負担金、事務費負担金、保健事業費負担金として合計90,188千円を計上しました。その他、一般会計繰出金、過年度保険料還付金及び予備費で180千円となっています。

歳入歳出それぞれ、94,800千円（対前年比1,200千円減、1.3%減）を当初予算に計上します。